

# 2010 年度

## 科別特論演習

## 医療衛生薬学演習I-i

セルフメディケーション：薬剤師の関わり方  
*The Role of the Pharmacist in Self-medication*

～OTC 薬の選択と指導～



報告書

東京薬科大学薬学部  
薬学教育推進センター編集

## まえがき

平成21年6月1日の薬事法改正により、OTC医薬品の販売方法が大きく変わり、OTC医薬品を取り巻く環境は大きく変化しました。こうした中で、今後薬剤師が最も能力を発揮できる場は、対面での情報提供・相談応需だと思われます。薬効、用法・用量、副作用、その他の注意事項、これらの医療情報を正しく分かりやすく伝えることは薬剤師にとって必須の業務であることはもちろんですが、OTC医薬品を販売するためには、さらに医薬品や疾患に対する幅広い知識が必要とされます。対話や患者の背景などから、疾患、病状を推定し、OTC医薬品の選択あるいは受診勧奨などの指導する能力を常にみがいておかなければなりません。

本学では、平成21年度に文部科学省「大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム」で「薬事法改正に対応した薬剤師育成プログラム」

(セルフメディケーションを実現できる薬剤師育成プログラムの開発)が採択され、OTC医薬品の販売において社会のニーズに対応できる能力を持った学生の育成とそれを評価するシステムの確立を目標に活動を進めています。

ここにまとめた報告書は、薬剤師に必要な能力とセンスを育成することを目的として行った、第4学年科別特論演習、医療衛生薬学演習Ⅰ「セルフメディケーション：薬剤師の関わり方」の教育内容を示したものです。昨年度から継続しているテーマですが、本年度は、e-ラーニングの導入、症状評価表の作成などを加え、自主的に課題に取り組むことのできるように内容を変更し、課題症例についても、改善を加えました。

「セルフメディケーションを実現する薬剤師の育成」は、必須の教育内容ですが、解決しなければならない課題がまだ多くあることを痛感しています。この冊子を通じて、多くの方々からご意見、ご指導をいただけることを願っています。

東京薬科大学薬学部  
薬学教育推進センター長  
加藤哲太

# — 目 次 —

実施報告	1
(はじめに、目的、予定表、実施方法、結果、まとめ、参考文献)	
資料1：講義 1 いまこそ薬局・薬剤師の出番！ ～セルフメディケーション時代～	15
資料2：講義 1 わかりやすく「伝える」・「教える」ために ～薬局におけるコミュニケーション～	21
資料3：課題 1 「改正薬事法」徹底解剖 ～情報ライブ ミヤネ屋～ DVD鑑賞 感想文	27
資料4：講義 2 事例検討の導き方 1 ～頭痛編～	33
資料5：課題 2 事例検討	45
資料6：講義 3 事例検討の導き方 2 ～症状評価表作成～	73
資料7：eラーニング	79
資料8：課題 4 疾患別学習コンテンツ	83
資料9：事例問題	87
資料10：プレゼンテーション	91
資料11：アンケート	131